

小規模多機能居宅介護事業所 牧島荘 運営推進会議 議事録

日時：2025年12月9日（火） 10:30～12:00

場所：牧島荘フリースペース

出席者：利用者代表 1名・家族代表 1名・地域代表者 2名・知見者 2名
市職員 1名・事業所職員 3名・施設職員 1名

【1】活動報告

10～11月の活動をスライドを基に説明

- ・新嘗祭、秋祭り、芋ほりなどの様子を報告
- ・中庭や外出を通して、季節を感じていただく機会を提供した。
- ・長崎県老人福祉施設協議会のフォトコンテストで見事最優秀賞に選ばれた。

【2】利用状況について

現在登録20名 配布資料を基に説明

- ・新規利用者2名 訪問から開始し、通いの利用へ繋げていくことを目標にする。
- ・包括支援センターから独居男性、認知症の方の紹介が増えている。

委員からの意見：地域

サロン活動を通して、以前と様子が違うなど、周りの声や自身の気づきから包括に相談している。地域活動を活かすことができている。

【3】事故・ヒヤリハット報告

事故2件 配布資料を基に説明

- ・インスリン過剰投与（行政報告）
通所利用日だったが宿泊利用と誤認し、自宅で投与済みのインスリンを二重投与した。
- ・請求漏れ
6月から4か月間、3名分の弁当代金を請求していなかった。

委員からの意見：

意見	回答
・インスリン事故の重大性を再認識する必要がある。情報の記載、共有を確実にする仕組みが必要。	・情報共有の不十分さを反省し、利用形態を誤認しないよう、通所、宿泊関係なく利用時は事業所でのみインスリン投与を行う。ご家族へ謝罪し、対応を共有した。

【4】外部評価

スライドと配布資料を基に説明

- ・サービス評価の目的、実施状況を説明
- ・常勤、非常勤職員13名で実施。全職員の意見を反映し事業所評価を作成した。
- ・事業所評価のできた点・できなかった点の共有

できた点	できなかった点	強化課題
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応の向上 ・開始前ミーティング、振り返りの定着 ・新規受け入れ時の多職種会議の定着 ・記録共有方法の改善 ・意見への対応 ・地域体操教室の施設内開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者の地域情報把握 ・認知機能低下の説明 ・事故分析の甘さによる再発 ・話し合いの要点整理不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との連携強化 ・伝達スキル向上 ・原因分析・対策強化 ・端的にまとめる能力向上

委員からの意見：

意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・牧島荘の在宅サービスの基本マニュアルを作成し、職員の知識の標準化を図ることでサービスが安定できるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル化は重要と考えます。共有の知識を持って対応できるよう取り組んでみたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・体操教室や事業内容などが、幅広い世代には伝わっていない。広範囲に情報が届く方法を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の回覧板やSNSに加え、地域に開かれた場所（花見処）の整備を進め、施設に近づくきっかけを作ることで、利用者家族、地域住民へのPRを図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・現状地域で防災訓練は実施されていないが近年町づくり事業が行われるようになった。地域組織へ事業所から働き掛けを行ってはどうかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状は地域からの情報提供はあまりない。地域組織から必要があれば、連携のお声をかけていただけたらありがたい。今後、積極的に情報収集に努めます。
<ul style="list-style-type: none"> ・耐震、津波への対応はどうしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震は定期的に検査し問題はない。津波災害の地域には該当しない。がけ崩れについては現在対応中。

次回開催：

令和8年2月10日（火）10：30～12：00

介護老人福祉施設 牧島荘 フリースペース